



第2会場 ● 2F 自由研修室

司 会 / 大木 昇 山口県山陽小野田市立高泊小学校 教頭
桑原 智信 長崎県時津町教育委員会社会教育課 課長

分科会の進め方

10:45~10:50

1 くまもと「親の学び」プログラムの提案 ー参加体験型学習の方法と進行役養成の意図ー

10:50~11:20

田原 里恵(熊本県熊本市 熊本県教育委員会社会教育課 社会教育主事)

県教育委員会が市町村教育委員会や福祉関係課と連携して、平成21年度から親の教育力向上プログラムを開発、22年度より学校や保育所・幼稚園、公民館で行われる家庭教育講座で実施している。発達段階に応じたしつけの問題提示、アイスブレイクやグループ活動などの具体的方法を提案。要となる進行役の養成とそのための方のトレーナー派遣にも力を入れている。進行役養成講座の参加はのべ770名、「親の学び」講座は8,300名を越えた。

2 地域コミュニティ南の島のアプローチ ー地域貢献型人材バンクの創設と官民協働によるヨロン方式のコミュニティ再生ー

11:25~11:55

田畑 文成(鹿児島県与論町 与論町教育委員会 生涯学習係)

平成17年にコミュニティ再生の切り札として「地域貢献型人材バンク」を創設し、現在511名(町民の11.6%)の登録者に達している。当初から活動の目的を「地域貢献」と明確に宣言し、官民協働による各種社会教育プログラムの実施を通して町民に浸透し、町の行財政改革に寄与するという点でも期待は大きい。今後は観光・商工・福祉分野の事業受託を含め、「新しい公共」としての役割を拡大していきたい。

3 「郷づくりコミュニティ」構想と連携したコミュニティ・スクール神興東の実践

12:00~12:30

小野 稔(福岡県福津市 福津市立神興東小学校 教頭)

福津市神興東地区の「郷づくりコミュニティ」構想と神興東小学校の「コミュニティ・スクール」構想は平成19年に同時スタートしている。住民がすすめる理想の地域づくりとコミュニティと共存する学校づくりが同時進行する形になったのである。活動の核心は、地域・家庭・学校の「共働」参画による行事の企画と運営である。具体的には、地域運動会、校区文化祭、遠足、避難訓練、交通安全教室、環境整備事業「夢空間づくり」などの共同実施である。現在、二者の「共働」体制が充実し、子どもの学習・生活習慣が定着し、校区住民の交流も拡大・深化している。